



完成した16号棟。9月供用開始

日本自動車ターミナル 京浜16号棟しゅん工 日通、西濃が借り受け

日本自動車ターミナル(本社・東京、岩永勉社長)は五日、京浜トラックターミナルの十六号棟をしゅん工した。供用開始は九月一日から。従来の特積みの荷さばき場のほか、流通加工・保管などの配送センター機能に加わった総合物流施設。一階の荷さばき場は西濃運輸(本社・岐阜県大垣市、田口義隆社長)、二階より上の階は日本通運(本社・東京、川合正矩社長)が借り受け。

所在地は東京都大田区

平和島二フーノ二。京浜トラックターミナルの南

西に位置。旧六号棟の土地に建てられた。延べ床面積は、約三万七千平方メートル。地上六階建ての鉄骨造り。一階は三十九バース。二階にはスロープが取り付けられ、直接乗り入れが可

に与えられた使命と責任の重要性を深く認識し、社業にまい進していきたい」とあいさつ。また、来賓として松原忠義大田区長など行政関係者らが祝辞を述べた。松原区長は「大田区を中心とした国際物流を整備する際、日本自動車ターミナルの果たす役割は大きい」と語った。

日通の渡辺健二専務執行役員東京支店長も「京浜トラックターミナルは、大井埠頭、羽田空港、消費地に近く、最高の立地。また再開発する時には、お手伝いさせていただきたい」と述べ、乾杯の音頭をとった。

日々はターミナルの再開発を進めている。既存の土地を有効活用し、配送センター機能を持つ総合物流施設を建設する。

平成十八年、十五号棟をしゅん工。税制などが優遇される「物流総合効率化法(物効法)」の認定を受けた。十七号棟以降の計画も進行中。